

事務事業 No./名称	■サービス部門 都調-02 風致地区事務 □支援部門						
主管課	都市調整課	関連課					
分野名							
目標 (目標値)	古都保存法や神奈川県風致地区条例等の許可基準等の徹底を図り、歴史的風土の良好な維持、承継を目指す。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	1,400	1,241	1,267			
	(国・県)	160	160	160			
	(負担金等)						
	(一般財源)	1,240	1,081	1,107			
	人員配置数	5.0	5.0	5.0			
	人件費(千円)	39,918	43,068	43,973			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	41,318	44,309	45,240			
	市民1人当りの経費(円)	233	250	255			
	対象者1人当りの経費(円)		8,861,800	9,048,000			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	横浜市	横須賀市	藤沢市	鎌倉市	単位	
	全市域	43,498	10,068	6,951	3,953	ha	
	風致地区面積	3711.0	1356.0	584.0	2194.0	ha	
	風致地区割合	8.53	13.47	8.40	55.50	%	
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
風致地区事務	1,400千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E			
	事業の概要	古都保存法や神奈川県風致地区条例等の許可基準等の徹底を図り、歴史的風土の良好な維持、継承を目指す。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E			
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E			
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E			
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	・企業や個人の行為者等に対して「風致地区条例」はもとより「鎌倉市における風致地区条例の運用に関する審査基準」の内容の周知・理解を促進すること。また、古都保存法の趣旨、手続、規制等を広く市民や業者に理解してもらうこと。		
課題解決のための取組	・窓口相談や電話での問い合わせ、具体事例の申請事務など、日常業務のあらゆる場面で相手に丁寧な説明を心がけ、内容を理解し風致の維持に協力してもらえるよう、地道な努力を重ねている。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	・風致地区や歴史的風土保存区域等は、豊かな自然と歴史的文化遺産を有する本市の風致維持、歴史的風土の保存を行う上で重要な役割を担うものであり、今後も土地所有者や寺社、行為者等に風致地区条例及び古都保存法の手続、規制等に関する理解が得られるようにする必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性 ○		・「風致地区条例」の趣旨や規制等について、理解と協力を求めていくと共に、市独自の条例を平成26年度を目標に制定し、鎌倉市の特性を生かした風致の維持に努める。 ・古都保存法の趣旨、手続、規制等の啓発、周知に当たっては、引き続き業界、市民等に理解と協力を求めていく。	課長等名	
		③有効性 ○			↓	都市調整課長
		④公平性 ○			A	征矢 剛一郎

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
風致地区事務	1147	事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,029	○	○	○	○
	1147	風致地区内標柱修繕	199	199	○	○	○	○
	1147	古都保存連絡協議会負担金	50	50	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							